

# 令和2年度 第1回 安倍川水系流域委員会 【最近の河川事業を取り巻く話題】

令和3年2月16日

国土交通省 中部地方整備局  
静岡河川事務所

# 目 次

- 1. 令和2年7月豪雨による安倍川流域の出水状況について . . . . . 1
- 2. 安倍川流域治水プロジェクトについて . . . . . 5
- 3. 防災・減災・国土強靱化のための5ヶ年加速化対策について . . . . 11

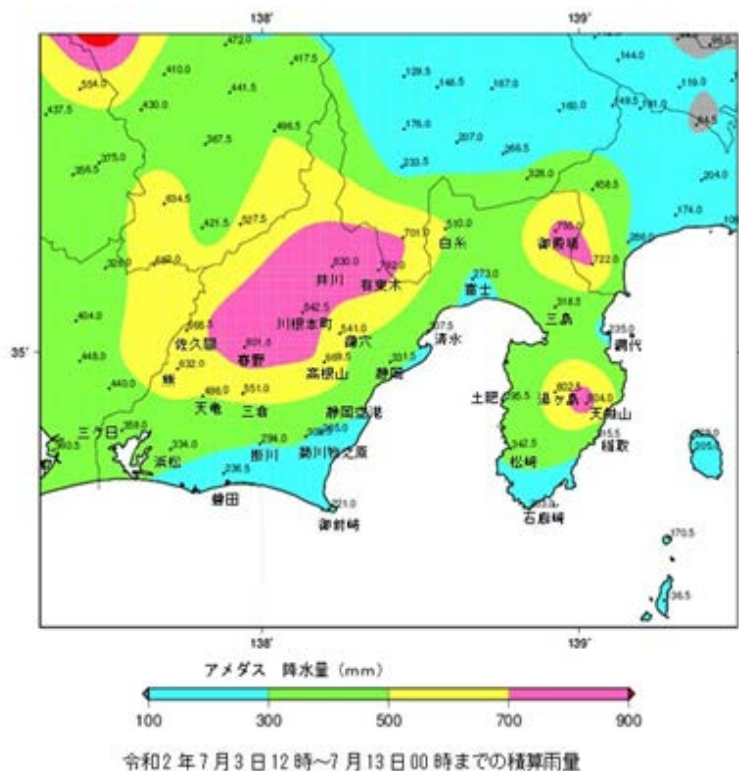
# (1) 令和2年7月豪雨による出水状況について

7月3日から12日にかけて中国大陸から日本のはるか東へのびる梅雨前線が本州付近に停滞し、この前線上を低気圧が次々と通過した。このため、南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となり、断続的に大雨となった。

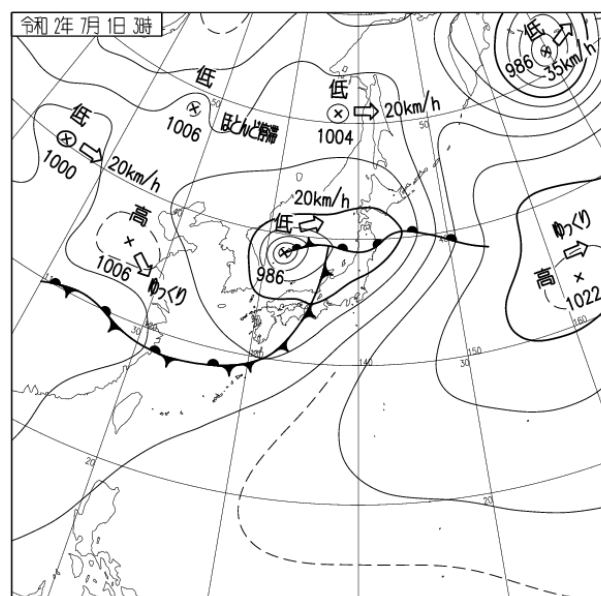
静岡県では、4日未明から昼前にかけて、6日夜遅く、9日明け方から朝、11日夜遅くから12日未明にかけて、中部、西部、東部の山地を中心に非常に激しい雨となった。降り始め(7月3日12時)から降り終わり(7月13日00時)までの総降水量は、川根本町で**842.5**ミリ、静岡市井川で**830.0**ミリを観測した。

また、**静岡県には南西海上から多量の水蒸気が流入しやすい状態が継続し、地形の影響で特に山地を中心に総降水量が多くなった。**

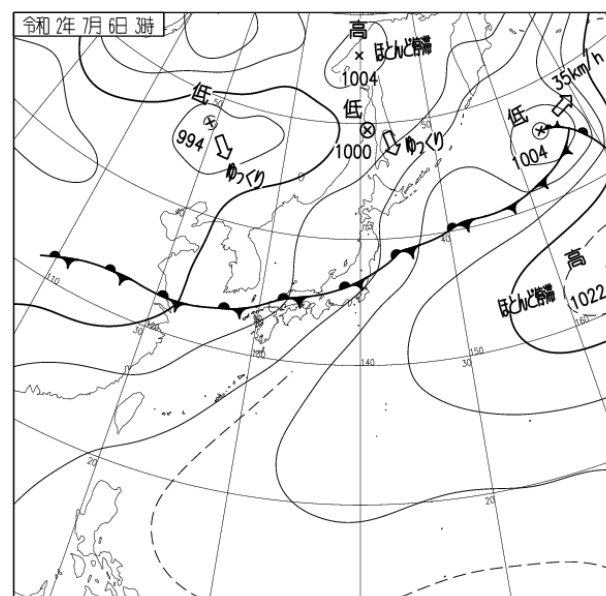
○アメダス積算降水量分布図



○天気図



7月1日 3:00

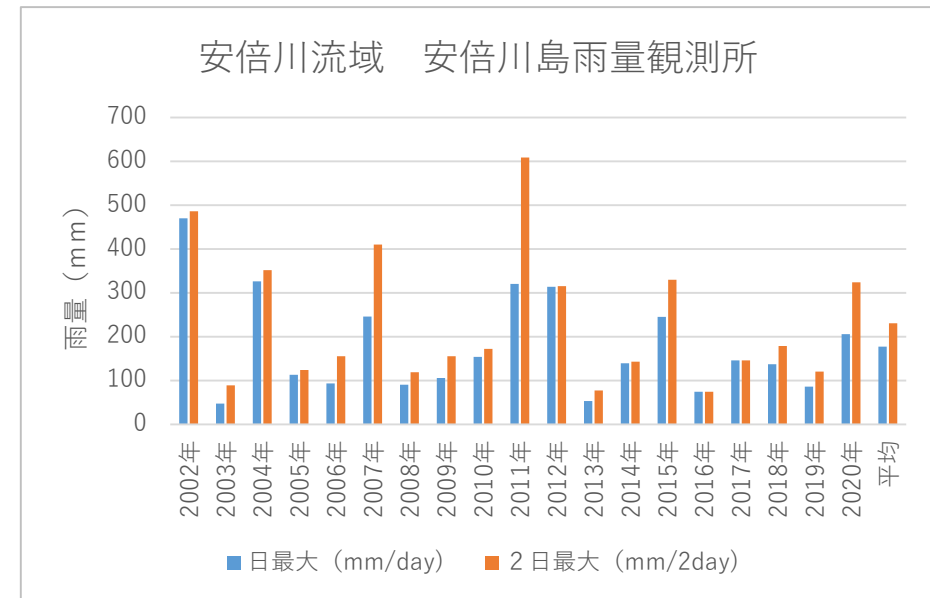
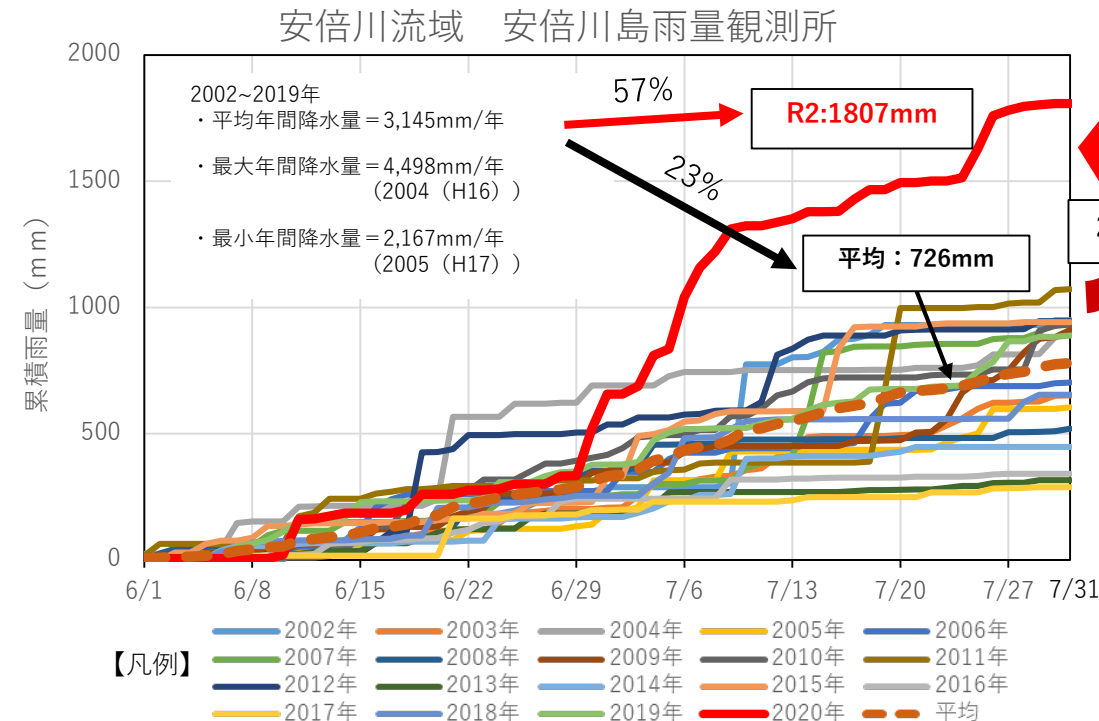


7月6日 3:00

# (1) 令和2年7月豪雨による出水状況について

6月1日～7月31日の累積雨量の経年変化

令和2年6月から7月の累積雨量は**過去19年間（2002年～2020年）で最大となり**、平年の約2倍強の降水量を記録した。また、日最大雨量、2日最大雨量では平均をやや上回る値で、幸い集中豪雨とはなかったため、九州地方のような大災害には至らなかった。

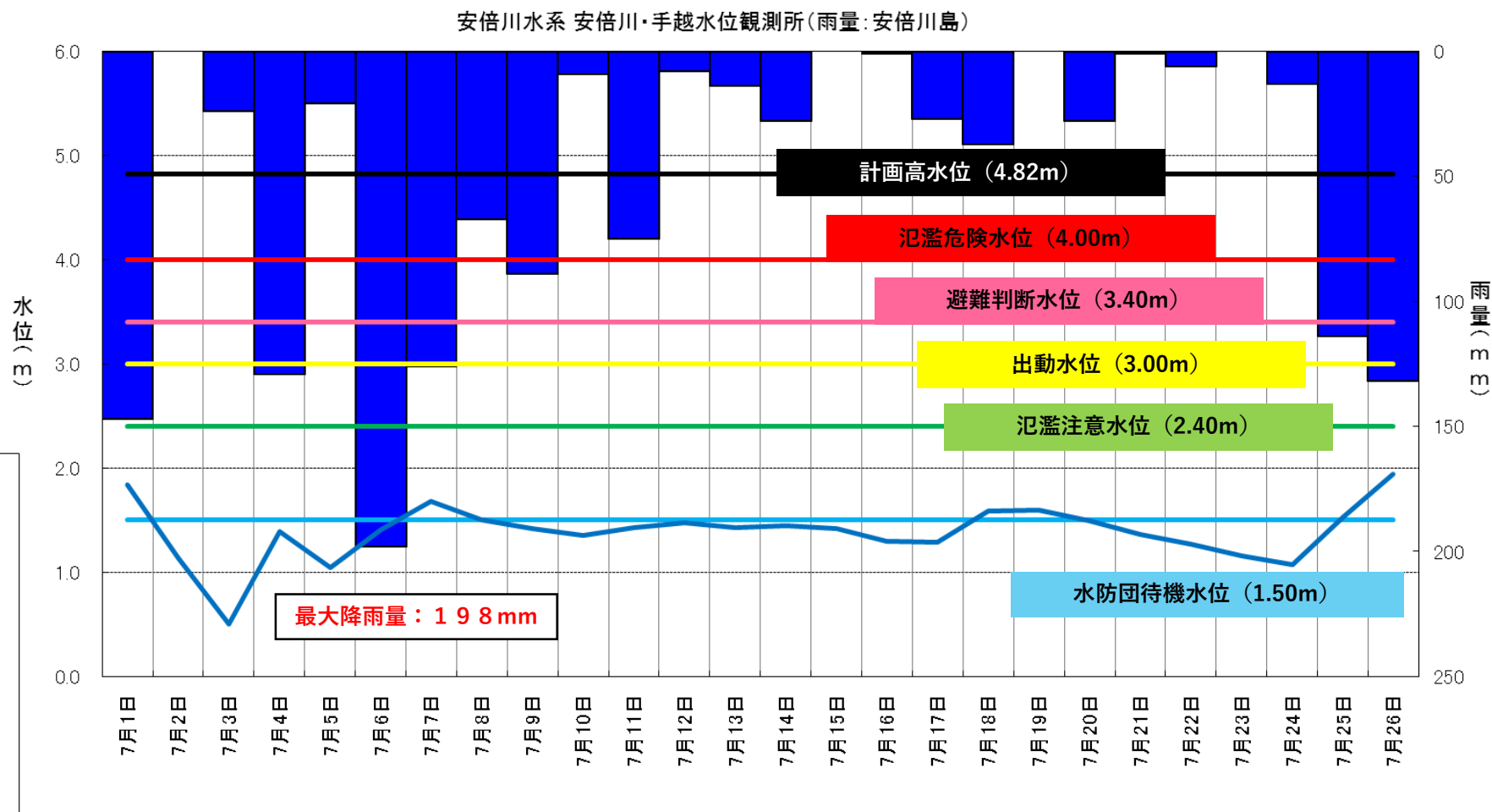


# (1) 令和2年7月豪雨による出水状況について

安倍川の水位と雨量の変化

安倍川の水位は急激な水位上昇はみられなかったものの、**長い期間にわたり水防団待機水位付近を推移した。**

## 手越



※日雨量・日水位は毎日午前9時の観測値



# (1) 令和2年7月豪雨による出水状況について

静岡河川事務所管内の被災状況

| 番号 | 被災箇所                                        | 水位状況                                                      |
|----|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| ①  | ●安倍川右岸の1.5km付近<br>(静岡市下川原地先)で自然河岸が侵食        | 安倍川 手越水位観測所(水防団待機水位1.50m)<br>損傷時水位状況 1.30m(7月16日10時00分頃)  |
| ②  | ●藁科川右岸の0.5km付近<br>(静岡市牧ヶ谷地先)で法枠コンクリート張護岸が損傷 | 安倍川 奈良間水位観測所(水防団待機水位2.30m)<br>発見時水位状況 1.74m(7月28日11時00分頃) |



静岡市下川原地先(安倍川右岸1.5k)  
7/16 9:40頃現地調査



静岡市牧ヶ谷地先(藁科川右岸0.5k)  
7/28 11:30頃現地調査

## (2) 流域治水プロジェクトについて

### 1. 激甚化・頻発化する水災害等への防災対策の推進

#### (1) ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」の推進

3,976億円

- 気候変動の影響による災害の頻発化・激甚化に対応するため、抜本的な治水対策として、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、ハード・ソフトの両面から「流域治水」を推進。
- 河川、下水道、砂防、海岸等の管理者が主体となって行う治水対策に加え、水田、校庭、民間施設、国有地等の機能連携を進めるなど、府省庁・官民が連携したあらゆる対策の充実を図る。



あらゆる関係者が協働して行う「流域治水」

#### 流域のあらゆる関係者が協働して行う対策

##### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川堤防や遊水地等の整備
- ・治水ダムの建設・再生
- ・雨水貯留浸透・排水施設の整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・海岸保全施設の整備
- ・治水ダム等の事前放流
- ・治水ダムの事前放流等の判断に資する雨量予測の高度化
- ・水田の貯留機能の向上
- ・森林整備、治山対策
- ・民間企業等による雨水貯留浸透施設の整備
- ・未活用の国有地を活用した遊水地・雨水貯留浸透施設等の整備 など

##### ■ 被害対象を減少させるための対策

- ・高台まちづくりの推進（線的・面的につながった高台・建物群の創出）
- ・リスクが高い区域における立地抑制・移転誘導 など

##### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ハザードマップやマイタイムライン等の策定
- ・要配慮者利用施設（医療機関、社会福祉施設等）の浸水対策
- ・渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策
- ・地下駅等の浸水対策、鉄道橋梁の流出等防止対策
- ・学校及びスポーツ施設の浸水対策による避難所機能の維持 など

あらゆる関係者が協働して、「流域治水プロジェクト」を策定し、実行



# (2) 流域治水プロジェクトについて

## 1. (1) ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」の推進 [1 / 8]

### 「流域治水」の推進に向けた施策の充実・強化

下線部: 令和3年度新規事項

#### 流域のあらゆる関係者が協働して行う対策

流域の関係者が一体となって事前防災対策に取り組むための協議会を設置するとともに、対策の全体像を示す「流域治水プロジェクト」を策定し、各対策を推進。

P.7

#### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

##### 洪水氾濫対策

- ・堤防整備、ダム建設・再生等の加速化
- ・「粘り強い堤防」を目指した堤防強化

##### 内水氾濫対策

- ・都市浸水対策の強化  
(下水道浸水被害軽減総合事業の拡充等)

P.10

##### 土砂災害対策

- ・砂防関係施設の整備

##### 高潮・津波対策

- ・気候変動等を踏まえた海岸保全対策の推進

P.11

##### 流水の貯留機能の拡大

- ・利水ダム等による事前放流の更なる推進  
(協議会の創設等)

P.8

##### 流域の雨水貯留機能の向上

- ・流域の関係者による雨水貯留浸透対策の強化  
(貯留機能保全区域の創設、雨水貯留浸透施設の整備の支援)
- ・水田の貯留機能の向上
- ・森林整備、治山対策
- ・民間企業等による雨水貯留浸透施設の整備
- ・未活用の国有地を活用した遊水地、雨水貯留浸透施設等の整備

P.9

#### ■ 被害対象を減少させるための対策

##### 水災害ハザードエリアにおける 土地利用・住まい方の工夫

- ・リスクが高い区域における立地抑制  
(浸水被害防止区域の創設等)
- ・危険なエリアから安全なエリアへの  
移転促進[都市局所管]

[法律]

(防災集団移転促進事業の拡充) [予算・法律]

- ・高台まちづくりの推進  
(線的・面的につながった高台・建物群の創出)
- ・居住の誘導等のまちづくりと一体となった  
砂防関係施設等の整備

P.12

##### まちづくりでの活用を視野にした 土地の水災害リスク情報の充実

- ・開発の規制や居住の誘導に有効な  
多段階な浸水リスク情報の充実

##### 浸水範囲の限定・氾濫水の制御

- ・二線堤の整備や自然堤防の保全

#### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

##### 土地の水災害リスク情報の充実

- ・水災害リスク情報空白地帯の解消 [法律]

P.13

##### あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供

- ・土地等の購入に当たっての水災害リスク情報の提供

##### 避難体制等の強化

- ・洪水・高潮予測の高度化
- ・ハザードマップやマイ・タイムライン等の策定
- ・学校及びスポーツ施設の浸水対策による  
避難所機能の維持
- ・要配慮者利用施設の浸水対策  
(医療機関、社会福祉施設等)

##### 経済被害の軽減

- ・渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の  
流失防止対策
- ・地下駅等の浸水対策、鉄道橋梁の流出等防止対策

##### 関係者と連携した

##### 早期復旧・復興の体制強化

- ・被災自治体に対する支援の充実  
(権限代行の対象を拡大し、準用河川、  
災害で堆積した土砂の撤去を追加)

P.15



## (2) 安倍川流域治水プロジェクトについて

### 【協議会の目的】

近年、令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨をはじめとした激甚な水害が発生するなど、気候変動により、水害が激甚化・頻発化している。

このため、安倍川流域において、あらゆる関係者が協働して「流域治水」(流域全体で水害を軽減させる治水対策)を計画的に推進するための協議・情報共有を行う。

### 【協議会の実施事項】

1. 安倍川流域で行う流域治水の全体像の共有・検討
2. 河川に関する対策、流域に関する対策、避難・水防等に関する対策を含む「安倍川流域治水プロジェクト」の策定と公表
3. 「安倍川流域治水プロジェクト」にもとづく対策の実施状況のフォローアップ
4. その他、流域治水に関して必要な事項

## (2) 安倍川流域治水プロジェクトについて

### 【協議会の構成員】

| 機 関 名                                    | 役 職 名 |
|------------------------------------------|-------|
| 静岡市                                      | 市 長   |
| 静岡県 静岡土木事務所                              | 事務所長  |
| 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター<br>静岡水源林整備事務所 | 所長    |
| 国土交通省 中部地方整備局 静岡河川事務所                    | 事務所長  |

### 〈オブザーバー〉

| 機 関 名             |
|-------------------|
| 農林水産省 関東農政局 農村振興部 |
| 林野庁 静岡森林管理署       |

# (2) 安倍川流域治水プロジェクトについて

## 安倍川水系流域治水プロジェクト【素案】

～先人の知恵に学び備える、静岡市街地を守る治水対策～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、安倍川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の昭和54年10月洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。また、急流土砂河川である安倍川では、河道掘削を行うとともに、侵食による堤防決壊が想定されるため、侵食対策についてもあわせて実施していく。

### ■河川における対策

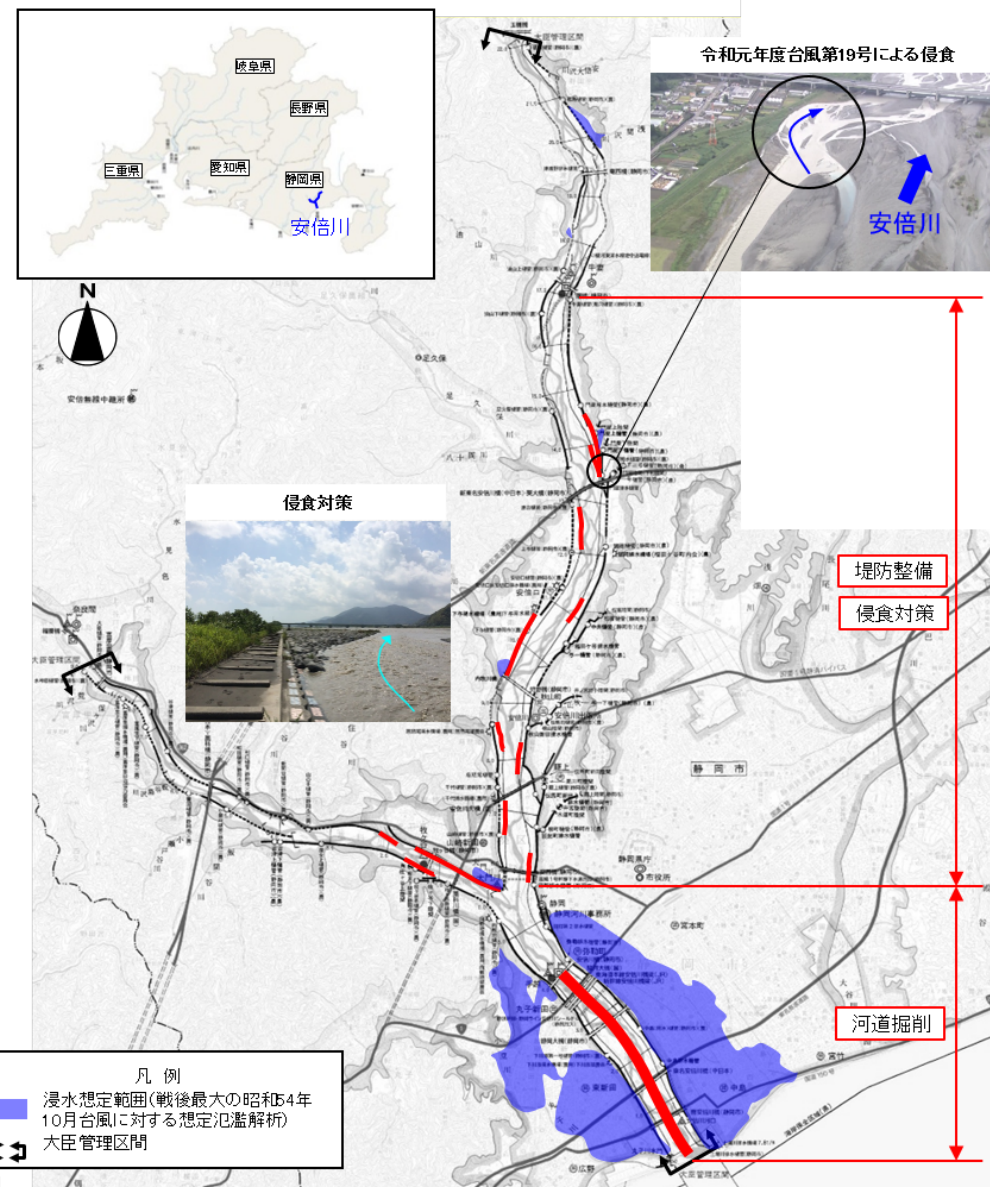
国の対策内容 河道掘削、堤防整備、侵食対策 等  
※今後、関係機関と連携し、県管理区間の河川改修を追加予定

### ■流域における対策のイメージ

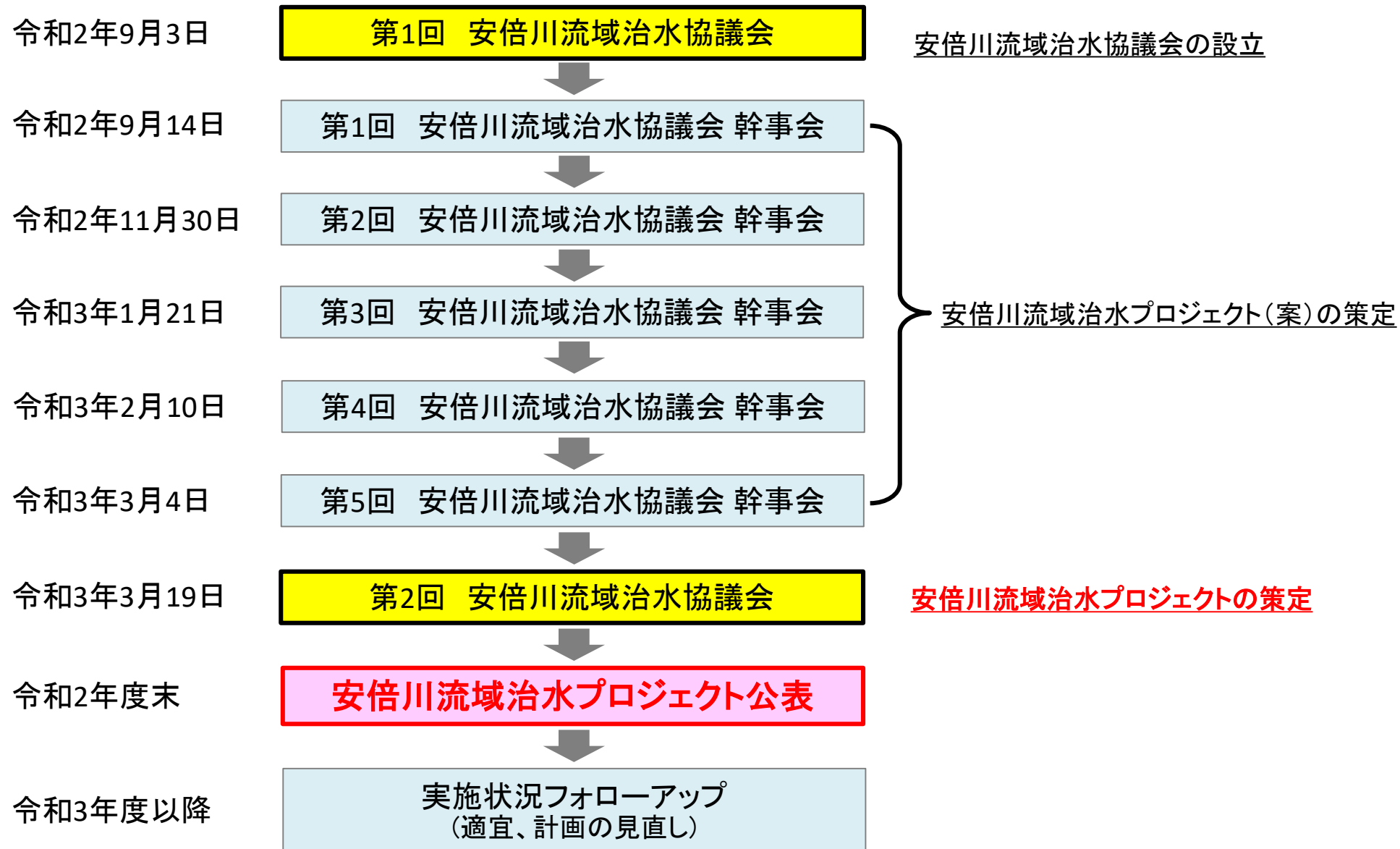
・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備  
・土地利用規制・誘導（災害危険区域等） 等  
※今後、関係機関と連携し対策検討

### ■ソフト対策のイメージ

・水位計・監視カメラの設置  
・マイ・タイムラインの作成 等  
※今後、関係機関と連携し対策検討



## (2) 安倍川流域治水プロジェクトについて



※今後の検討状況等により、変更となる場合がございます。



# (3) 防災・減災・国土強靱化のための5ヶ年加速化対策について

【参考】防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

## 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策 概要

国土強靱化の取組を加速化・深化するため、水管理・国土保全局では所管分野を対象に、令和3年度から令和7年度までの5か年で重点的・集中的に対策を講ずる。

### 1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震への対策

#### ■流域治水対策(河川・砂防・海岸・下水道)

気候変動の影響による災害の激甚化・頻発化に対応するため、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の考え方にに基づき、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速化。

堤防整備



ダム建設・ダム再生



砂防関係施設整備



大規模地下貯留施設



既存ダムの治水活用



海岸保全施設整備



ハード・ソフト一体となった対策を推進

#### ■下水道施設の地震対策

大規模地震の発生リスクが高まる中で、公衆衛生の強化等のため、下水道管路や下水処理場等の耐震化を実施。



処理場の耐震化  
(躯体補強)

### 2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

#### ■河川・ダム・砂防・海岸・下水道施設の老朽化・長寿命化等対策

早期に対策が必要な施設の修繕・更新を集中的に実施し、予防保全型のインフラメンテナンスへの転換を図る。

対策前



対策後



老朽化したポンプ設備の修繕・更新により、災害のリスクを軽減

対策前



常時流水の影響による摩耗の進行

対策後



高耐久性材料を活用した改築

### 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

#### ■河川、砂防、海岸分野における施設維持管理、操作の高度化対策

適切な施設維持管理や施設操作の高度化のため、排水機場等の遠隔化や、3次元データ等のデジタル技術を活用した維持管理・施工の効率化・省力化を図る。



遠隔監視・操作化により、緊急時においても排水作業が可能  
(排水機場の遠隔化イメージ)

#### ■河川、砂防、海岸分野における防災情報等の高度化対策

住民の避難行動等を支援するため、降雨予測の精度向上を踏まえ、河川・ダムの諸量データの集約化やダムや河川等とのネットワーク化を図るとともに、水害リスク情報の充実や分かりやすい情報発信、迅速な被災状況把握等を行うためのシステム強化等を実施。

